

埼玉医科大学医学部

令和 8 年度 一般選抜（前期） 小論文

出題の意図

医学部での学習には、授業を聞くことや教科書を読むこと等を通じて、自分自身で考え、意味を理解することが必須である。この際、文脈に沿って意味を理解する、抽象的な説明から具体的な事案を想像して考える、具体的な説明から抽象化する、図表を読み解くといった知的操作が重要となる。他方、適切な日本語で的確に書くことは、自分の考えを表現する表現能力だけでなく、正確に理解し、思考する能力とも密接に関連している。小論文では、このような能力を測ることを目的として出題している。

1

日本語（語彙、読解力、作文力）に関して基礎的な学力及び人の心の動きを察する力を測る。具体的には、登場人物の感情や行動の理由を自分なりの言葉で説明できるかどうかを問う。

2

医学を修得するのに必要な基礎学力を測る。何らかの仮説を検証する方法を想定し、具体的に文脈に適用できるか、また、抽象化された式の意味を、具体的文脈に即して説明できるかを問う。

3

論理的思考力を反映した英文読解力と理解した内容についての日本語及び英語表現力を測る。英文の日本語訳、日本語文の英語訳が適切にできるかどうかを問うほか、内容をまとめることを通じて段落レベル、文章全体レベルで理解できているかどうかを問う。